

# 宇城消防新体制始動!!

## 消防大学校に入校して



警防課警防係長  
山本安弘 消防司令補

去る1月12日から2月26日まで消防大学校に入校しました。入校に際しましては、皆様には格別のご高配やご厚誼を賜り感謝申し上げます。消防大学での研修は座学・視察・訓練等があり充実した内容でありました。講義は消防大学の教授は勿論、大学教授や弁護士、シンクタンクの専門家、消防庁次長、課長、専門官など消防大学にふさわしいスタッフで、分かり易い講義を受けることが出来ました。また、自分が入校する前の考え方が講義や訓練を受けるうちに矯正されたことが一番の収穫であるような気がします。消防組織法第1条の消防の任務を何時も考えながら、リスクマネジメントとクライシスマネジメントを構築していくことが大切であることに気が付かされました。この研修で得られましたことや、段ボール箱2個分の本や資料を見ながら、ポートフォリオの消防の問題点を消防大学で交流を深めた77名の仲間たちと連絡を取りながら生かして、今後の残された消防人生に生かしていければと思います。



新消防長  
橋 忠義 消防監

消防長就任挨拶

この度、4月1日付をもちまして、消防長を拝命いたしました。もとより微力ではありますが、その職責を重く受け止めて、使命達成のため職員皆様のご協力を仰ぎながら、重責を全うするため最善の努力をしたいと決意を新たにしております。どうか、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年来の世界的不況の影響により、国・地方も、より一段と厳しい財政状況であります。私たち消防は、予算の大部分を構成する町の負担金で賄ってまいりました。しかし、このような状況下においても、住民生活の基礎である安心・安全の確保のため、多様化する消防需要に対応しなければなりません。そのためには、職員の皆様一人ひとりに更なる能力の向上と創意工夫をお願いしたいと思っております。

この機会に、所信の一端を述べさせていただきます。

第一に、「明るい・元気のある職場・組織作り」を目指したいと思っております。なぜなら、消防資機材等の充実がいくら図られても、それを使うのは人であり、特に消防には、お互いの信頼関係は不可欠であります。

第二に、「先輩から後輩への貴重な知恵袋の伝承体制」の構築を図りたいと思っております。今、大量退職時代到来の中、消防力の低下を招かぬよう、今まで以上に先輩から後輩に現場活動のコツや価値ある経験を伝えることにより、ベテラン隊員と若い隊員との意思疎通が図られ、その価値ある経験が組織の財産となり、精強なプロの消防士を育てることとなりますので、現場での技術力、安全対策の低下を招かない体制づくりが急務だと考えます。

第三に、「市町及び消防団との信頼・連携の強化」を進めたいと思っております。現場活動には「消防団との連携」が必要なことは言うまでもありませんが、常備消防、非常備消防それに構成市町を含めた相互信頼の構築に努め併せて行政と消防が一体となった防災体制の必要性を考えます。

第四に、「就寝施設の防火指導の強化」に努めたいと思っております。依然として多い火災による犠牲者を出さないため、指導徹底や住宅防火対策の推進が必要と考えています。平成21年4月の法改正をふまえ、特に社会福祉施設等で自力避難が困難な方が入居する施設には、防火指導・改善指導を図っていかねばなりません。また、併せて増加する救急・救助体制の強化も必要と考えます。

終わりになりますが、職員の皆様をはじめ、ご家族のご健勝ご多幸を心から祈念いたしまして、就任の挨拶にかえさせていただきます。

# うき消防の動き

## 4月号

(署内報)  
編集・発行 宇城広域連合消防本部総務課  
〒869-0419 熊本県宇土市新松原町159-1  
TEL 0964(22)0554 FAX 0964(22)0270  
Mail honbu@ukisyobo.or.jp  
URL http://ukisyobo.or.jp  
平成22年4月10日発行

## 潜水技術のスキルアップ

福岡市博多区のアクシオン福岡で3月10・11日、潜水隊の「水難救助訓練」が実施された。消防1課所属の潜水隊を中心に12人の隊員が参加した。

この訓練は、冬場における水難救助を想定し、視界が良好なプールで基本の見直し及び、検索法の再確認を行うために実施されている。今回の訓練は、ジャムステック（海洋研究開発機構）の潜水技術研修を受講している甲田士長が指揮を執り、器具点検・着装要領・潜水時の注意点を再確認し、潜水の基礎から訓練を行った。

その後、水面泳法、高さ3メートルからのエントリーや2班に分かれてジャックステイ検索訓練等を2日にわたって実施した。

実際の災害時、管内の海は、視界が良くても1メートル程度。このような、視界が良く、深さがある施設で訓練を行い、スキルアップに繋げてほしい。



訓練内容を確認する潜水隊員たち



県大会出場を決めた吉田消防士

## 日々の熱き思いを語る

宇城広域連合消防本部職員意見発表会

消防本部2階会議室で5日に、宇城広域連合消防本部職員意見発表会が開催された。今回、5名（植田消防士、藤村消防士、林田消防士、松本消防士、吉田消防士）の発表者が出場。火災・救助・救急現場等で、様々な経験から感じたことを、それぞれの職場・仕事に対する熱い思いを発表した。

厳正な審査の結果、「大切な人を守るための防災意識」を表現豊かに発表した、吉田章弘消防士が最優秀賞に輝いた。今回出場した職員5名、すべて感慨深く素晴らしい発表内容であった。

なお、吉田消防士は、4月14日（水）に上益城郡御船町「御船カルチャーセンター」で行われる、第33回熊本県消防職員意見発表会に出場する。

## 美里町消防点検開催



黄砂が舞う寒風の中、下益城郡美里町のカントリーパークで3月18日に、美里町消防団の消防点検が実施された。式典終了後、幼年消防クラブから消防団員まで通常点検が実施され、その後、昨年10月22日に行われた第19回全国女性消防操法大会で、準優勝を果たした美里町女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の展示、そして前週に行われた、操法大会優勝の遠野班が小型ポンプ操法を、そして敵野班がポンプ車操法を披露した。午後からは、会場を砥用ドーム（北側道路）に移し、放水競技が行われた。結果は次のとおり。

総合点検の部	
優勝	第四分団
準優勝	第三分団
第三位	第一分団
通常点検の部	
優勝	女性消防隊
準優勝	第四分団
第三位	第一分団
放水競技の部	
優勝	第五分団第二部 馬場班
準優勝	第二分団第二部 三和・栗崎班
第三位	第三分団第二部 今坂班
操法大会	
(ポンプ車の部)	
優勝	第一分団第一部 敵野班
(小型ポンプの部)	
優勝	第一分団第一部 遠野班



ポンプ車操法  
敵野班



小型ポンプ操法 遠野班  
軽可搬ポンプ操法 女性消防隊

